

## ◆「主として知識に関する問題」

### 特に課題が見られた内容

「漢字を使い分ける」  
「文脈における意味を考えながら同音異義や同訓異義の漢字を使い分けること」に課題がある。

(言語事項) 設問2-(1)ウ

	正答率	無解答率
本 県	38.0%	18.5%
全 国	36.8%	18.7%

「段落の内容をとらえる」  
「目的や意図に応じて、段落の内容をとらえること」に課題がある。

(読むこと 言語事項) 設問9-1

	正答率	無解答率
本 県	41.2%	37.6%
全 国	40.6%	37.4%

### 指 導 上 の 工 夫

#### ●文脈における意味を考えながら、同音異義の漢字を使い分ける学習活動の工夫

- ・同音や同訓の漢字の使い分けができるようにするためには、ただ暗記するだけでなく、文脈における意味を考え、その適否を判断するような言語感覚を高めることが必要である。
- ・案内や報告などを書く活動を通して、文脈に合わせて使用する漢字や言葉を判別する習慣を付けるような指導が大切である。
- ・国語辞典や漢字辞典を積極的に活用し、意味の違いや用法を正しく理解した上での確に使うような学習指導も大切である。

#### ●文章中の語句や文に着目して、内容をとらえる学習活動の工夫

- ・文脈に即して内容を読み理解させるためには、語句と語句、文と文、段落と段落との関係を押さえる必要がある。
- ・重要な語句や中心となる語句が文章においてどのように言い換えられているかをとらえさせることが重要である。
- ・ふだんの授業において、事実と意見(感想)の違い、根拠・理由となっているところなどを判別させる指導を行うことが大切である。

## ◆「主として活用に関する問題」

### 特に課題が見られた内容

「聞き方を工夫する」  
「話し手の意図を考え、反応を示したり、内容を深めたりして聞くこと」に課題がある。

(話すこと・聞くこと 書くこと) 設問1二

	正答率	無解答率
本 県	68.0%	11.9%
全 国	69.4%	11.5%

「人物や場面の描写をとらえる」  
「登場人物の心情と場面についての描写を叙述と関係付けて読むこと」に課題がある。

(書くこと 読むこと) 設問2三

	正答率	無解答率
本 県	44.4%	22.4%
全 国	45.0%	22.7%

「情報を読み取り、条件に即して書く」  
「目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書くこと」に課題がある。

(書くこと 読むこと) 設問3二

	正答率	無解答率
本 県	32.0%	17.8%
全 国	32.8%	17.6%

「必要な情報を取り出し、様式に即して書き換える」  
「目的に応じて必要な情報を取り出して、効果的に書くこと」に課題がある。

(書くこと) 設問3三(2)

	正答率	無解答率
本 県	33.4%	20.1%
全 国	32.4%	21.6%

### 指 導 上 の 工 夫

#### ●話し手の意図をつかみながら、適切に聞く能力や態度を育てる学習活動の工夫

- ・適切に聞くためには、話し手の立場、話の目的をつかむことが必要である。
- ・インタビューや対話などの学習活動において、聞き取ったことをキーワード、箇条書きなどの形でメモをする力を身に付けさせることが大切である。
- ・相手や状況に応じて、インタビューを進めるためには、準備した内容を計画的に順序よく質問することに加えて、相手の回答や話の展開に合わせて、質問内容を変更するような学習活動を授業の中に取り入れることも大切である。

#### ●登場人物の心情と場面についての描写とを関係付けて読む学習活動の工夫

- ・登場人物の心情をとらえる際に、必ず本文の叙述に立ち返らせることが必要である。
- ・本文の叙述のどの言葉が登場人物の心情を表しているかという根拠を明確にさせる指導を、ふだんの授業において行うことが大切である。
- ・情景描写にも登場人物の心情が反映されていることに気付かせることも大切である。

#### ●目的や課題に応じて、資料から分かったことや考えたことを書いたり、条件に即して書き換えたりする学習活動の工夫

- ・目的に応じて資料から情報を正しく取り出し、テーマや条件に合わせて書く指導が必要である。
- ・自分の立場や主張を明確にした上で、その根拠として数値や事例などを正しく引用して書くことなどの学習活動を充実することが大切である。
- ・グラフや表などの資料と本文をもとに、事実と感想・意見を区別し、分かったことや考えたことを書く活動を他教科との関連を図りながら取り入れることも大切である。

#### ●取り出した情報を記録、報告、説明、感想など多様な様式に書き換える学習活動の工夫

- ・目的や課題に応じて、必要な情報を正確に取り出し、条件に即して書く力を高めるためには、目的(何を伝えるための文章であるのか)や課題(どのような条件にしたがって書くのか)を、明確に意識させる必要がある。
- ・取り出した情報を記録、報告、説明、感想など指定された様式に書き換える活動をふだんの授業に取り入れることが大切である。